

私たちを支えているもの

宮崎西高等学校附属中学校

一年 木村 杏

下水道。よく知っているこの言葉だが、あまり深く考えたことはなかった。だから、それがあって当たり前だと思っていた。そして、もしそれがなかったら？などと思ったこともなかった。

そもそも、下水道とは何なのか。まず、そのことについて調べてみた。すると、主に三つの役割があることが分かった。それは、浸水防除、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全だ。これらは全て、私たちが生きていく上で困ったことからできたものだった。

まずは、浸水防除だ。この役割ができた背景は、水害の頻発だ。集中的な豪雨、特に最近はその増加している。ひとたび豪雨が起ると、その地域には大体浸水被害が起きている。その度に活躍しているのが下水

道だ。この下水道があることで、雨水が河川等へと流れるため、被害は少なくなっていると思う。もし、下水道がなければ、浸水被害を防ぐどころか、被害は拡大していたと思う。次に、公衆衛生の向上について考えてみた。今ではほとんどがからなくなっているが、昔はコレラなどの流行性の病が起こっていた。今の私たちが健康に過ごしているのは、もちろん医療技術が発達したからということもあると思う。しかし、下水道によって、水

が滞留せず、さらに排除できることが公衆衛生の向上に大きく関係していると思う。最後に、公衆用水域の水質保全だ。この役割は具体的に河川や海の水質の向上につながる。河川や海に住む生物たちにとっての困りごとからできたものだと思う。私たちの生活の中で出る汚水は、下水道で処理されて河川に流されている。もし、処理をされなかつたとしたら、今頃、河川や海はどうなっていた

いたのか、想像もできない。この下水道の優  
割を知って、私たちの当たり前前の生活のあり  
がたさを知る事ができた。  
一方で、下水道にはまだ課題がある。それ  
は、未整備地区への早急な敷設だ。

私たちの住む日本では、下水道普及率が七  
十九・三パーセントで、世界では六十七位と  
なっている。しかし、都道府県別に調べると、  
普及率一位の東京都は九十九パーセントもあ  
るが、四十七位、つまり最下位の徳島県では

十八パーセントであり、かなりの差が生まれ  
ていることが分かった。河川や海にも、水を  
浄化してくれる役割があるが、やはり下水道  
で処理をして、もつ綺麗な水にして流した  
いと感じた。そして、そのためには、水を大  
事に使わなければならぬと改めて実感した。

私たちの生活に欠かせない下水道。今回  
その役割によって私たちの生活が成りたつて  
いるのだということを感じた。水が無駄にし  
ない、洗剤も必要な分だけ使う、などの私た

ちいもできる、下水道への協力を日常的に行  
っていきたいと思つた。そして、縁の下の  
力持ち」の下水道に拜して感謝をしながら過  
ごしていきたいと思う。